

文京区 地域福祉活動計画

令和6年度～令和9年度

3分でわかるダイジェスト



「文京区地域福祉活動計画」は、地域住民や地域福祉関係者・関係団体などが、地域の課題を自分たちのものとして捉え、解決に向けての地域づくりに主体的に関わっていくための行動計画です。本計画の実現のため、3つの基本目標を定めました。

基本理念は、本計画を具体的に推進するための指針となるものです。これまでの基本理念を踏襲しながらも「多様性」や「より豊かな生活」などの新たな視点を加え、社会の変動に応じた取組を進めていきます。

課 題

基 本 理 念

基 本 目 標

1

つながりが広がり
づらい人がいる

地域には多様な人たちがいること、地域活動や集いの場は増えているが、そこに来ることができない人たちがいることが分かりました。

2

地域の多様な
人たちと多様な
つながり方がある

地域には、多様な人たちがいて、そのような多様な人たちに合わせたつながりの機会があることが大事であることが分かりました。

3

住民と専門職が
連携をするための
工夫がある

連携・協働のためには、主体同士の距離が近いことや知り合う場面からのプロセスが大事であることが分かりました。

「お互いさま」が生まれるまち
知り合い、伝え・伝わり、心を寛^{ひろ}げ、
つながりをもつことで

基本目標
1

地域には多様な人たちがいて、つながり方も多様である。身近なところで、気にかけて、声をかけ、関心を持ち、支え・支えられる関係性が増えている。

基本目標
2

より豊かな生活をおくるため、多様な人たちに合わせた参加・参画の機会が広がっている。

基本目標
3

地域と関係機関、団体が知り合い、一緒に悩み・考え、お互いの強みを活かす機会をつくり、ネットワークで継続的に取り組んでいる。

4年後このような地域を目指します

ちょっとしたことを
気にかけて合うような
関係が増えたら
いいですね。

食を通じたつながりづくりを
様々な人たちと一緒に考えて、
地域活性化を
実現していきたい。

自分の知識や得意なこと、
色々な世代の方々と
関わる活動ができてよかったです。
毎回わくわくしています。

お互いに支え合う関係を
居場所で作れると
いいですね。

地域住民の一人として
色々な人との距離を
近づけることを
目標としています。



多様な方が
運営に協力していただき、
瞬く間につながりの輪が
広がりました。

人を「問題がある人」ではなく、
何か素敵な魅力がある人とみることで、
そしてそれが人の中で芽吹くことが
大事です。

アイデアを出し合い、
協力し合うことで、
ひとりだけではできない
実践ができていると感じます。

文京区 地域福祉活動計画

令和6年度～令和9年度

3分でわかるダイジェスト

発行年月：令和5年4月

【発行】社会福祉法人 文京区社会福祉協議会

〒113-0033 東京都文京区本郷4丁目15番14号

【電話】03(3812)3040 【FAX】03(5800)2966

【ホームページ】<https://www.bunsyakyo.or.jp/>

